

## 職種定義

# ビューティーセラピー

職種30



ワールドスキルズインターナショナルは、その競技運営委員会の決議により、またその憲章、運営規則および競技規則に基づいて、技能五輪国際大会の本職種における下記の最低要件を承認している。

本職種定義は以下の内容で構成されている。

1	序文.....	3
2	ワールドスキルズ職業基準 (WSOS) .....	5
3	評価戦略と仕様 .....	13
4	評価設計と実践 .....	14
5	競技課題 .....	19
6	職種管理および情報伝達.....	22
7	職種限定の安全要件 .....	25
8	材料および機材 .....	26
9	職種限定規則 .....	35
10	エキスパートの知識と経験 .....	38
11	来場者とマスコミに対する職種の広報活動.....	39
12	持続可能性.....	40
13	産業界との協議に関する情報.....	41
14	付録.....	42

# 1 序文

## 1.1 職種競技の名称と説明

### 1.1.1 職種競技の名称

ビューティーセラピー

### 1.1.2 関連する職務または職業の定義

ビューティーセラピストは一般的に商業分野で働き、個々の顧客のスキンケア、ボディケア、マッサージ、メイクの専門的なサービス、トリートメント、アドバイスを提供する。要求されるサービスの性質と質、そしてクライアントからの支払いには直接的な関係がある。従って、ビューティーセラピストには、満足を与え、ビジネスを維持し、成長させるために、専門家として顧客と対話的に仕事をする継続的な責任がある。ビューティーセラピーは、美容／理容、ファッション、メディアといったサービス分野の他の部分や、それを支える多くの製品やサービスと密接に関連しており、通常は商業的な目的で行われている。

ビューティーセラピーはまた、個人の自尊心や自信をサポートする重要な治療的役割も担っている。病気の実効性を改善し、回復を助けることができるかもしれない。

ビューティセラピストは、レジャー施設や健康関連施設内の大小のサロンなど、多様な環境で働く。ビューティセラピストが提供する専門サービスやトリートメントは、顔、体、足、手、爪に関するものである。ビューティーセラピストは、例えばマニキュア、ペディキュア、スキンケアなどを専門とすることもある。それとは関係なく、作業の組み立て方と対応の仕方、専門家としての姿勢、顧客ケア、人間関係は、卓越したビューティーセラピストの普遍的な属性である。

ビューティーセラピストはお客様と1対1の関係で仕事をしますが、より広いチームの一員になることもできます。どのような仕事の構造であれ、訓練を受け経験を積んだビューティーセラピストは、高いレベルの個人的責任と自律性を担っています。安全な作業に細心の注意を払い、お客様の健康と幸福を守ることから、特別な日のための卓越したメイクアップ実効性を達成することまで、すべての施術とお客様が重要なのです。

ビューティーセラピーサービスや関連商品に対する世界的な需要の高まりと、人々の国際的な移動に伴い、ビューティーセラピストは急速に拡大する機会と課題に直面している。才能あるビューティーセラピストには、多くの商業的・国際的な機会があるが、多様な文化や流行を理解し、それに対応する必要がある。そのため、ビューティーセラピーに関連する技能の多様性は拡大する可能性が高い。

### 1.1.3 チームの選手数

ビューティーセラピーは1人の選手による職種競技である。

### 1.1.4 選手の年齢制限

選手はその技能競技大会の年において22歳以下でなければならない。

## 1.2 本書の位置づけおよび重要性

この文書には、この職種競技に出場するために必要な基準、および競技を管理する評価の原則、方法、手順に関する情報が記載されている。

各エキスパートおよび各選手は、この職種定義について理解しておく必要がある。

「職種定義」の異なる言語間の解釈の相違に際しては、英語版が優先される。

## 1.3 関連書類

この職種定義は職種限定の情報のみを含むため、以下のものと共に用いること。

- WSI—倫理・行動規範
- WSI—競技規則
- WSI—ワールドスキルズ職業基準の枠組
- WSI—ワールドスキルズ評価戦略
- WSI—本文書に記されているオンラインの情報源
- ワールドスキルズ安全衛生および環境に関する方針と規制
- ワールドスキルズ基準評価ガイド（職種限定）

## 2 ワールドスキルズ職業基準 (WSOS)

### 2.1 WSOSに関する一般的な注意事項

WSOS は、技術的および職業的能力における国際的な最良事例を実証する知識や理解および特定の技能について詳述している。これらは職業に特有のものであると同時に、横断的なものでもある。産業界およびビジネスにおいてその関連する職務または職業が象徴するものについて、全世界で共有される理解を反映したものでなければならない ([www.worldskills.org/WSOS](http://www.worldskills.org/WSOS)).

職種競技は WSOS の記述に従い、国際的な最良事例を可能な限り反映することを目的としている。したがって、WSOS は、職種競技のために必要とされる訓練や準備についての指針でもある。

職種競技において、知識や理解の評価は実技の評価を通して行われる。知識や理解力のテストは、それらを覆す理由が無い限り、別途行うことはない。

WSOS は、見出し付きのセクションで区切られ、参照番号が付いている。

各セクションで合計点における割合（パーセント）が定められ、WSOS に占める相対的重要性が示されている。これはしばしば「重要度」と呼ばれる。すべての評点の合計は100点である。重要度は、採点スキーム内の評点の配分を決めるものである。

競技課題を通して、採点スキームは、WSOS に記載されている技能のみを評価する。それらは、職種競技の制約内で可能な限り包括的に WSOS を反映する。

採点スキームは、実際に可能な範囲で、WSOS 内の評点の割り当てに従う。WSOS で規定されている重要度を歪めない限り、最大 5% までの変動は許容される。

### 2.2 ワールドスキルズ職業基準

セクション		相対的重要性 (%)
1	<b>作業の組み立て方と対応の仕方</b>  各自は以下を知り、理解していること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ビューティーセラピー業界に適用される健康、安全、衛生に関する法律、規則、規制</li> <li>• 様々な美容トリートメントに使用される工作器具、設備、電気機器の種類と目的、安全で確実な使用方法、メンテナンス方法、保管方法</li> <li>• 製品、化粧品、およびそれらの成分に関する目的、用途、ケア、潜在的リスク</li> <li>• 常にメーカーの指示に従うことの重要性</li> <li>• 医療専門家からの照会に対応する際の専門家としての倫理観</li> </ul>	8

セクション		相対的重要度 (%)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 人間工学的原理</li> <li>• 各ビューティーセラピーに要する時間</li> <li>• ターゲットの役割を含むビジネスの仕組み</li> <li>• ビジネスを成功させるための個人の役割</li> <li>• 自身の専門性の発展に継続的に取り組む重要性               <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ ビューティーセラピートリートメントの観点から</li> <li>◦ 発展のためのコンピュータ、デジタル、オンライン技術の利用に関して、ビジネスの観点から</li> </ul> </li> <li>• 先端技術、侵襲的機器、高度な製品調合の使用を含む、健康、安全、衛生に関するさまざまな国の規則や規制に適応する必要性</li> <li>• 環境的に持続可能な慣行を維持することの重要性</li> </ul>	
	<p>各自は以下の能力を有すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 健康、安全、衛生の要件に従って施術エリアを準備する。</li> <li>• 専門的で、安全かつ衛生的な方法で顧客サービスを提供する。</li> <li>• 装置を設置し、道具や材料を準備する。</li> <li>• メーカーの指示に従い、スムーズで効果的なサービスを提供する。</li> <li>• 効率性を最大化するために施術エリアを準備する。</li> <li>• 顧客に安全で快適な時間を過ごしていただけるよう、魅力的でリラックスできる空間を提供する。</li> <li>• 商業的に許容される期間内に施術を完了する。</li> <li>• 施術終了後のワークステーションを清掃・整頓する。</li> <li>• 製品のお勧めやアドバイスをする。</li> <li>• アフターケアと小売に関するアドバイスを提供する。</li> <li>• 業界のトレンド、テクノロジー、高度な製品調合、流行を常に把握し、これらの分野でのプロフェッショナルとして成長し続ける。</li> <li>• 環境的に持続可能な手法を採用して施術を実施する。</li> </ul>	
<b>2</b>	<b>専門家としての態度</b>	<b>6</b>
	<p>各自は以下を知り、理解していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 顧客や同僚との良好な関係を築くために、プロとしての振る舞いと話し方の重要性</li> <li>• 顧客の快適さと安心のための自己管理と話し方の重要性</li> <li>• プロとしてのイメージ作りにおける姿勢の重要性</li> <li>• 自分で問題を解決できることの重要性</li> </ul>	
	<p>各自は以下の能力を有すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 顧客や同僚との良好な関係を築き、維持する。</li> </ul>	

セクション		相対的重要度 (%)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 制服、身だしなみ、対人技能に関して、専門家としてのイメージとマナーを実践する。</li> <li>• 同僚や顧客に敬意を払う。</li> <li>• 自分のストレスを効果的に対処する。</li> <li>• 定期的な運動で釣り合わせたライフスタイルを維持する。</li> </ul>	
<b>3</b>	<b>顧客ケアと人間関係</b>	<b>6</b>
	<p>各自は以下を知り、理解していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 顧客、商品、その他の関連事項に関する記録を手作業とデジタルの両方で保管する必要性</li> <li>• データ保護要件</li> <li>• 顧客の快適さ、慎重さ、慎重さの重要性</li> <li>• 顧客の年齢、性別、文化、民族性を考慮した、顧客の期待と実際のニーズとの関係</li> <li>• 医療サービスからの照会を扱う際の専門家としての手順</li> <li>• 顧客一人一人との有意義な会話を通して、分析・解釈を助けるために、注意深く耳を傾け、よく質問することによって情報を収集し、治療をパーソナライズすることの重要性。</li> </ul> <p>顧客の希望を正確に伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 禁忌およびビューティーセラピストが施術を着手しない、引き受けない理由</li> <li>• 医学的なアドバイスを参照する状況と理由</li> <li>• 異なる文化、年齢、期待、好みを持つ顧客と対話するための適切な形式やスタイルを含むコミュニケーション・スキルの重要性</li> <li>• 施術計画や処方が、適切なライフスタイルの推奨や施術後の顧客フォローアップとともに設計されていることを確認するために、顧客を全体的に見直す必要性</li> <li>• あらゆる分野における細部へのこだわりの重要性</li> <li>• 効果的かつ持続的な顧客関係の基礎</li> <li>• 栄養学、運動の重要性、皮膚の状態と衛生</li> <li>• 起こりうる一般的な問題の種類と、それらを独自に解決する方法</li> <li>• 施術の有効性を証明するため、またマーケティングにも利用できる可能性のある「施術前と施術後」の写真の撮影。</li> </ul>	
	<p>各自は以下の能力を有すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プロとして、安全で衛生的な方法で顧客サービスを提供する。</li> <li>• プロとして顧客をお迎えし、歓迎する。</li> <li>• 顧客の期待に沿えるよう、リラックスできる思い出に残るサービスを提供する。</li> </ul>	

セクション	相対的重要度 (%)
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ボディランゲージを正確に読み取り、解釈する。</li> <li>• 文化の違い、年齢、性別を尊重し、顧客のニーズに径違い管接続用アダプターを提供する。</li> <li>• 顧客の尊厳を守り、維持する。</li> <li>• 目視および手技による検査を着手する、引き受ける</li> <li>• 問診中に禁忌の兆候を認識し、それに対応する。</li> <li>• 必要に応じて医師の診断を受ける</li> <li>• 予防的条件を特定し、それに応じて治療の径違い管接続用アダプターを策定する。</li> <li>• 「コンサルテーション」において、クライアントの期待や要望を明確にする</li> <li>• 色、スタイル、製品、肌と体のケア方法についてのアドバイスを提供する。</li> <li>• すべての施術に関するアドバイスを提供する。</li> <li>• 施術中、顧客との積極的な接点を維持する。</li> <li>• 施術中の禁忌行為を特定し、適切に対応する。</li> <li>• 施術を終了する前に、顧客からのフィードバックを求める</li> <li>• 問題を素早く認識・理解し、自己管理されたプロセスに従って解決する。</li> <li>• 顧客が必ず明るい気持ちで帰れるようにする。</li> <li>• 顧客の満足度を判断するため、または反応を軽減するための情報を提供するために、施術後のフォローアップ相談を実施する。</li> </ul>	
<b>4</b>	<b>10</b>
<p>各自は以下を知り、理解していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 髪と肌のタイプと構造</li> <li>• 毛髪の成長サイクル</li> <li>• 肌と髪のコンドーション</li> <li>• ワックスがけ/シュガーがけを着手するために必要な製品と機器</li> <li>• 血液や体液を扱う際の正しい衛生手順を実践することの重要性</li> <li>• 顧客に的確なアフターケアのアドバイスを提供することの重要性</li> <li>• 環境的に持続可能な慣行を維持することの重要性</li> <li>• 禁忌と対処法を決定するための徹底的なカウンセリングと、それに応じて治療を修正する方法の重要性</li> <li>• 眉毛の形を削るさまざまなテクニックと眉毛のデザイン</li> </ul>	
<p>各自は以下の能力を有すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 衛生仕様に合わせたワックス/砂糖の準備をテストする。</li> <li>• 専門家として、安全で衛生的な方法で顧客サービスを提供する。</li> <li>• 顧客の髪質や肌質、公差を的確に評価する。</li> <li>• メーカーの説明書を通訳し、それに従う。</li> </ul>	

セクション		相対的重要度 (%)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワックス・サービスの前に、ワックスと砂糖の温度をテストする。</li> <li>顧客のニーズに応じ、健康と安全に関するガイドラインに従い、鎮静効果のある製品を使用し、フィルム、ホット、体温のワックスシュガーを塗布、除去する。</li> <li>全工程を通じて無駄を最小限に抑える。</li> <li>ホットワックス、ウォームストリップワックス、シュガーリングのテクニックを様々な部位に施す。</li> <li>肌へのダメージを最小限に抑えながら、ワックス、シュガーを塗布、除去する。</li> <li>ワックス脱毛が完了したら、すべての毛を取り除く。</li> <li>血液や体液を安全かつ衛生的に取り扱い、他者への感染を防ぐ。</li> <li>スレディング、ピンセット、ワックス製品など、さまざまな眉毛脱毛テクニックを応用し、眉毛の形を整え、整える。</li> <li>顧客の顔の形削りに応じて眉をデザインする。</li> <li>アフターケアと小売に関するアドバイスをする。</li> <li>環境的に持続可能な慣行を採用して施術を実施する。</li> </ul>	
5	顔	30
	<p>各自は以下を知り、理解していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのフェイシャルトリートメントにおけるクライアントとステーションの準備方法</li> <li>顔と頭の解剖学、生理学、皮膚科学</li> <li>禁忌とアレルギー反応、そして施術の変更方法</li> <li>各種電気式スキンケア施術器</li> <li>電気機器の使用と保守において、メーカーの指示と安全手順に従うことの重要性</li> <li>さまざまな肌タイプと肌状態、そしてその治療法</li> <li>スキンケア製品とその使用方法</li> <li>様々なマニュアルおよびデジタル肌分析法</li> <li>目の近くでの化学薬品の使用に関する問題</li> <li>デジタル通信機器の範囲</li> <li>高度な美容施術の適応、禁忌、手順、施術後のアドバイス、サポート製品（レーザー、ケミカルピーリング、マイクロニードル、ダーマプレーニングを含む）の要点について、顧客に適切なアドバイスができるようになる。</li> <li>顔、目、唇の形の違い</li> <li>出来栄のために必要なメイクアップ製品の種類と色について</li> <li>さまざまな眉毛の施術とトレンド</li> <li>さまざまなまつ毛の施術とトレンド</li> <li>メイクアップの電流トレンドとファッション</li> <li>すべての治療において安全衛生措置を適用することの重要性</li> <li>自主的に問題を解決する能力の重要性</li> </ul>	

セクション		相対的重要度 (%)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境的に持続可能な慣行を維持することの重要性。</li> </ul>	
	<p>各自は以下の能力を有すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 専門家として、安全で衛生的な方法で顧客サービスを提供する。</li> <li>• 製造業者の指示を理解し、顧客のニーズに合った施術上の注意事項や調整を行う。</li> <li>• フェイシャルトリートメントのための正しい準備方法を特定し、顧客の快適さと慎重さを考慮する。</li> <li>• 顧客のニーズ、適応症、禁忌症、予防条件、現在行っているスキンケア習慣などを判断するために、施術前のコンサルテーションを行う。</li> <li>• 通信障害を回避し、顧客のニーズ、要件、期待を確実に理解するために、必要に応じてデジタル通信機器を活用する。</li> <li>• マニュアルとデジタルを駆使して、顧客の肌タイプと状態を正確に分析する。</li> <li>• 電気フェイシャルトリートメントのための、顧客と部位の正しい準備方法を特定する。</li> <li>• カウンセリングや肌分析で得た情報を活用し、適切な施術計画や処置を立てる。</li> <li>• 肌のタイプ、状態、年齢、性別、顧客のニーズに合わせて製品を選択し、塗布する。</li> <li>• 専門的なスキンケア製品や電気機器を使用したフェイシャル・トリートメントを行う。</li> <li>• 顧客のニーズに合わせて、まつ毛や眉毛のティントを行う。</li> <li>• つけまつげ（ストリップ、クラスター、インディビジュアル）の装着を含む、さまざまなまつげトリートメントとトレンドを実施する。</li> <li>• 顧客の要望に応じた眉・眉毛のトリートメントと形を整える技術を行う。</li> <li>• ファンタジー・スタイルなど、さまざまなシーンに合わせたメイクを施す。</li> <li>• 在宅ケアの処方、アフターケア、小売に関するアドバイスを提供する。</li> <li>• レーザー施術、ケミカルピーリング、マイクロニードル、ダーマブレーニングなど、高度な美容治療の実施と適用に関する現地の規則や規制に従うこと。</li> <li>• 顧客に適応症、禁忌症、施術後のアドバイスや手順について助言し、免許を持つ施術者に紹介できるようにする。</li> <li>• サロンでのアフターフォローを勧める。</li> <li>• 環境的に持続可能な作業慣行を維持するため、製品の無駄を避ける。</li> </ul>	
<b>6</b>	<b>身体</b>	<b>25</b>
	<p>各自は以下を知り、理解していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ボディトリートメントのための顧客とステーションの準備方法</li> <li>• 身体システムの解剖学、生理学、疾患、障害</li> </ul>	

## セクション

 相対的重要度  
(%)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 体型、筋力の張り具合、皮膚の構造、関連する病状</li> <li>• すべての治療の適応と禁忌</li> <li>• 体組成を評価するさまざまな電気／デジタル機器</li> <li>• デジタル通信機器の範囲</li> <li>• 電気器具の使用およびメンテナンスにおいて、安全衛生手順に従うことの重要性</li> <li>• ボディマッサージ施術と施術の調整・応用の種類</li> <li>• ボディトリートメントと製品</li> <li>• ブレンド済みアロマセラピーオイルとマッサージ用メディウムのラインナップ</li> <li>• 機械的なマッサージ技術とマッサージ用具の範囲</li> <li>• 電気機器の範囲</li> <li>• 文化の違いと要求</li> <li>• すべてのボディセラピー施術において、安全衛生手順に従うことの重要性</li> <li>• 環境的に持続可能な慣行を維持することの重要性</li> <li>• 自主的に問題を解決できることの重要性。</li> </ul>	
	<p>各自は以下の能力を有すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コンサルテーションと身体分析を実施し、顧客の特定されたニーズを満たすための身体治療計画を立案する。</li> <li>• デジタル機器を活用して顧客の体組成を評価する。</li> <li>• 顧客との通信にさまざまなデジタル機器を活用し、言語の障壁を回避する。</li> <li>• 専門家として、安全で衛生的な方法で顧客サービスを提供する。</li> <li>• 様々な施術法の注意事項と禁忌を特定し、それに応じて施術内容の調整を行う。</li> <li>• 顧客の快適さと慎重さを考慮し、ボディトリートメントのための正しい準備方法を特定する。</li> <li>• メーカーの指示書を解釈し、それに従う。</li> <li>• 顧客の特定のニーズに合った製品を選択する</li> <li>• お客様のニーズに合わせてボディースクラブ製品を選び、塗布し、除去する。</li> <li>• 顧客のニーズに合わせてボディラップ製品を選択し、塗布、除去する。</li> <li>• 適切なリズム、スピード、圧力、動きの範囲で、様々なマッサージテクニックを行う。</li> <li>• 各顧客のニーズに応じて、施術内容の調整を行う。</li> <li>• 様々なマッサージ器具や機械的トリートメントを使用する</li> <li>• 顧客の特定のニーズに合わせて、さまざまな電気ボディセラピートリートメントを使用する。</li> <li>• 電気治療に関する注意事項と安全対策を終始適用する。</li> <li>• ブレンド済みのアロマセラピーオイルとマッサージ用メディウムを使用し、個々の顧客のニーズに合ったマッサージトリートメントを行う。</li> </ul>	

セクション		相対的重要性 (%)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境的に持続可能な作業慣行を維持するため、製品の無駄を避ける。</li> <li>• 洗濯とそれに伴う電気使用量を削減するため、必要に応じて環境にやさしい使い捨て製品を使用する。</li> <li>• 在宅医療の処方箋を推奨し、小売店のアドバイスを提供する</li> <li>• サロンでのアフターフォローを提供する。</li> </ul>	
7	足、手、爪	15
	<p>各自は以下を知り、理解していること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 手足全般を含む、爪および皮膚の疾患、障害、感染症および問題</li> <li>• 手、足、爪の構造</li> <li>• 化学製品の健康的で安全な使用</li> <li>• マニキュアとペディキュアの処置と施術</li> <li>• 天然爪とつけ爪のメンテナンスと修理</li> <li>• つけ爪の利用</li> <li>• フリーハンドのネイルアートデザインとファッションの数々</li> <li>• すべてのネイルサービスにおける最新のトレンドと流行</li> <li>• 環境的に持続可能な慣行を維持することの重要性</li> </ul>	
	<p>各自は以下の能力を有すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ネイルトリートメントに適した製品と人間工学的デザインを用いて、施術スペースを準備する。</li> <li>• 専門家として、安全で衛生的な方法で顧客サービスを提供する。</li> <li>• 顧客のニーズを満たすために、あらゆる種類の施術と製品を使用したスパ・マニキュアとペディキュア・トリートメントを実施する。</li> <li>• 角質除去、キューティクル、マッサージ、マスク、ニス塗布などのトリートメントを行う。</li> <li>• ネイルドリルまたはE-Fileを使用して施術を行う。</li> <li>• フリーハンドのネイルアートデザイン、ジェルポリッシュ、3Dスケルプチャーなどのグリッターを施す。</li> <li>• 青色UV硬化ライトで硬化させたジェルポリッシュを、顧客のニーズに合わせて塗布する。</li> <li>• つけ爪のチップを貼る。</li> <li>• さまざまなネイル・システムを使う。</li> <li>• アフターケアと小売に関するアドバイス</li> <li>• 施術中の安全衛生対策の実施</li> <li>• 環境的に持続可能な作業慣行を維持するため、製品の無駄を避ける。</li> </ul>	
	合計	100

## 3 評価戦略と仕様

### 3.1 一般的なガイダンス

評価はワールドスキルの評価戦略を用いて管理する。この戦略では、ワールドスキルの評価と採点において遵守すべき原則や技法を規定している。

エキスパートによる評価の実施は、技能五輪国際大会の中核を成している。この理由により、継続的な専門性開発や精査の対象となっている。評価に関するエキスパート員の成長は、技能五輪国際大会で使用される主な評価手段である採点スキーム、競技課題、競技情報システム（CIS）の今後の使用方法や方向性に反映される。

技能五輪国際大会での評価は、大きく分けて2種類に分けられる：測定と判定。両方の評価方法につき、各評価細目を採点するのにどちらの方法を使用するかについて明確なベンチマークを適用することが、質を保証する上で不可欠となる。

採点スキームは **WSOS** における重要度に従う必要がある。競技課題は職種競技の評価手段であり、したがって、**WSOS** にも従うものである。**CIS** は、タイムリーで正確な採点の記録を可能にする。**CIS** の精査、サポート、フィードバックの可能性は継続的に拡大している。

採点スキームは、概ね、競技課題の設計過程でその指標となる。その後、採点スキームおよび競技課題は、両者一体となって **WSOS** および評価戦略との関係性を最適化することを保証するため、反復作業を通して設計、開発、および検証される。採点スキームと競技課題は共にその品質および **WSOS** との一貫性を示すためにエキスパートの同意を得、**WSI** からの承認を求めて提出される。

**WSI** の承認を得るための提出以前に、採点スキームと競技課題は、その品質を保証し、**CIS** の実効性を確保するために、**WSI** の職種アドバイザーと連携する。

## 4 評価設計と実践

### 4.1 一般的なガイダンス

ここでは、採点スキームの役割と位置づけ、競技課題を通して実施された選手の作業に対するエキスパートの評価方法、ならびに採点の手順と必要事項について記述する。

採点スキームは、各技能競技を代表する基準に評価を結びつけるという意味で、技能五輪国際大会の極めて重要な手段であり、それ自体が世界的な職種を表している。また採点スキームは、作業に対する各評価細目の評点が、**WSOS** 中の重要度に応じて配点されるように設計される。

**WSOS** における重要度を反映することにより、採点スキームは競技課題設計のためのパラメータを確立することになる。職種競技の性質やその評価のために必要なニーズによっては、競技課題設計の手引きとして、最初に採点スキームをより詳細に開発することが適切な場合がある。オルタネーターは、採点スキームの概要に基づいて競技課題の初期設計を行うことができる。この時点より後においては、採点スキームと競技課題は同時に開発するべきである。

2.1 では、実行可能な代替案がない場合、採点スキームと競技課題がどの程度まで **WSOS** 内の重要度から乖離してよいかを説明している。

誠実性と公平性のために、採点スキームと競技課題は、関連する専門知識を持つ 1 人以上の独立した者によって設計および開発されるようになってきている。こうした例として、採点スキームおよび競技課題は、職種競技または職種競技モジュールの開始直前まで、エキスパートには見られないようにしている。詳細かつ最終的な採点スキームおよび競技課題がエキスパートによって設計される場合、独立した認証と品質保証のための提出に先立ち、エキスパートのグループ全体でそれらを承認する必要がある。詳細は、規則を確認すること。

エキスパートおよび独立した評価者は、完了前に十分な余裕を持って、検討、検証、および妥当性確認のために採点スキームおよび競技課題を提出する必要がある。また、品質保証のため、そして **CIS** の機能を最大限に活用するために、設計および開発のプロセス全体を通じて、職種アドバイザー、検討者、および検証者と協力して作業することも期待される。

全ての場合において、採点スキームの草案は、遅くとも技能競技大会の 8 週間前までに **CIS** に入力しなければならない。職種アドバイザーはこのプロセスを積極的に手助けする。

### 4.2 評価基準（の項目）

採点スキームの主要な見出しは、評価基準（の項目）である。これらの見出しは競技課題よりも前に、または競技課題と連動して生成される。職種競技の中には、評価基準（の項目）が **WSOS** のセクション見出しと類似しているものもあれば、異なっているものもある。通常 5~9 個の評価基準（の項目）がある。見出しが一致する、しないに関わらず、採点スキームは全体として **WSOS** における重要度を反映しなくてはならない。

評価基準（の項目）は採点スキームを開発する個人（または複数人）により開発され、考案者は競技課題の評価や採点に最適であると考えられる評価基準（の項目）を自由に決定できる。各評価基準（の項目）は **A** から **I** までのアルファベットで示される。評価基準（の項目）、評点の配分、および評価方法は、この職種定義内に記載してはならない。これは、評価基準（の項目）、評点配分、および評価方法がすべて、この職種定義の公開後に決定される採点スキームおよび競技課題の性質に依存するためである。

CISにより作成される採点集計様式（Mark Summary Form）は、評価基準（の項目）および副基準のリストを構成するものである。

各評価基準（の項目）に割り当てられた評点は、CISによって計算される。これらは、その評価基準内の各評価細目に付与された評点の累積合計になる。

### 4.3 副基準

各評価基準（の項目）は一つ以上の副基準に分けられる。各副基準はワールドスキルの採点様式の見出しになる。各採点様式（副基準）は、メジャメントまたはジャッジメント、あるいはその両方により評価され採点される評価細目で構成される。

各採点様式（副基準）には、採点日および採点チームの識別情報を記載する。

### 4.4 評価細目

各評価細目は、評価および採点される単一の項目を評点とともに規定し、また採点のためのガイドとしての詳細な説明または指示を細かく定義する。各評価細目は、メジャメントまたはジャッジメントによって評価される。

この採点様式は、配点とともに各評価細目を細かくリスト化している。

各評価細目の配点の合計は、WSOSの該当セクションで指定された評点の範囲内に収めなければならない。これは、以下に示すようなCISの配点表に表示され、大会開催8週間前の採点スキームの検討時に実施される。（4.1を参照）

	CRITERIA								TOTAL MARKS PER SECTION	WSS MARKS PER SECTION	VARIANCE	
	A	B	C	D	E	F	G	H				
STANDARDS SPECIFICATION SECTION	1	5.00								5.00	5.00	0.00
	2		2.00					7.50		9.50	10.00	0.50
	3								11.00	11.00	10.00	1.00
	4			5.00						5.00	5.00	0.00
	5				10.00	10.00	10.00			30.00	30.00	0.00
	6		8.00	5.00				2.50	9.00	24.50	25.00	0.50
	7			10.00				5.00		15.00	15.00	0.00
TOTAL MARKS	5.00	10.00	20.00	10.00	10.00	10.00	15.00	20.00	100.00	100.00	2.00	

### 4.5 評価と採点

各副基準にはひとつの採点チームが存在し、ジャッジメントまたはメジャメント、あるいはその両方で評価および採点を行う。同じ採点チームがすべての選手を評価し、採点しなければならない。これが実行不可能な場合（たとえば、すべての選手が同時に動作を行わなければならない場合）、それを監視していなければならない場合）、競技運営委員会管理チームの承認のもとに、第2段階の評価と採点が行われる。

採点チームは、いかなる状況でも同国人の採点をしないよう手配される。（4.6を参照）

## 4.6 ジャッジメントによる評価と採点

ジャッジメント（判定）には 0 から 3 の数字を用いる。厳密に一貫性を保った尺度を適用するため、以下を用いて判定する。

- 各評価細目に対する詳細なガイダンス（言葉、画像、成果物、またはセパレーターによるガイダンスノート）のベンチマーク（基準）。これは「基準と評価の手引き」に記されている。
- を0～3の縮尺で示す：
  - 0：業界水準以下の実技
  - 1：業界水準を満足する実技
  - 2：業界水準を満足しており、特定の分野においては業界水準を上回る実技
  - 3：全体的に業界水準を上回り、優秀と判断される実技

3人のエキスパートが、通常は同時に各評価細目を判定し、得点を記録する。4人目のエキスパートは、採点を調整および監視し、それらの妥当性を確認する。また彼らは、同国選手の採点を防止するために、必要な場合には判定員としての役割を果たす。

## 4.7 メジャメントによる評価と採点

通常、3人のエキスパートが各評価細目の評価を行い、4人目のエキスパートが監督する。状況によっては、二重採点のためにチームを2組のペアとして構成する場合がある。特に規定のない場合には、最高点または0点が付与される。点数を細分化する場合は、その採点に関するベンチマークを評価細目ごとに明確に定義すること。採点や送信の誤りを避けるため、採点用のシステムには多数の自動計算オプションが用意されており、その利用が義務付けられている。

## 4.8 メジャメントとジャッジメントの使用

基準の選択および評価方法に関する決定は、職種競技を設計する過程で、採点スキームと競技課題を通して行うこと。

## 4.9 職種の評価戦略と手順

ワールドスキルズは継続的な改善に取り組んでおり、それは過去における制限の振り返りや良い慣行を築くことを含む。下記に記す本職種競技の評価戦略と手順は、上記を考慮し、採点プロセスの管理方法について述べる。

評価と採点は以下の分野を対象とする：

- プロとしての姿勢
- 顧客の準備
- ワークステーションの準備と清掃
- 施術の実行

### 手順

チーフ・エキスパートはモジュールの評価を行わない。

タイムキーパーは、各モジュールの評価をしていないエキスパートの中から選ばれ、さらに独立したボランティアのタイムキーパーが1名加わる。

エキスパートは、各モジュールに必要な用語や結果を完全に理解し、説明を受けなければならない。

- 選手のカウチ番号は習熟時にくじ引きによって決められ、選手はモジュールごとに1つの作業エリアを移動する。
- モデルは各モジュールの前にワークショップ・マネージャによってチェックされ、くじ引きで選ばれる。
- 採点チームのエキスパートと検査官は、競技中のフロアでの会話を最小限にしなければならない。

検査官は、選手がいかなる不利益も被らないようにする。報告はチーフ・エキスパートに直接行う。

### 採点

- エキスパートはグループに分かれ、タイムキーパー、検査官の測定審査員、判定審査員を交代で務める。
- ジャッジを行わないエキスパートは、競技規則が守られているか、競技がスムーズに進行しているかを監督し、確認するためのスクティナーやタイムキーパーである。
- 検査官はチームで構成される。採点者は、競技の時間中は常に競技場に留まり、採点の形跡として写真を撮っておくこと。
- 採点が終わると、エキスパートと選手は写真を撮りに来ることができる。
- 写真撮影は境界の外から、または公式メディアエキスパートが行う。
- すべてのエキスパートが採点を終えたら、エキスパートは採点用紙を持ってチーフ・エキスパートのもとに行かなければならない。
- チーフ・エキスパートの要請がない限り、次回大会の職種定義および競技課題を担当するエキスパートは、ワークショップに出席してはならない。
- 役割がないエキスパートは、チーフ・エキスパートの要請がない限り、ワークショップから退出するか、エキスパート・ルームで待機する。

### A. 職業倫理

職種競技マネージャとチーフ・エキスパートの作業配置に従い、彼らや他のエキスパートと協力すること。

公正で正当な採点を行うこと。

### B. 警告とペナルティ

次のような場合は、採点において警告または減点を行う：

1. 業務上の取り決めやマネジメントに従わず、悪影響を及ぼす。
2. 故意に競争相手や経営陣に迷惑をかけたり、噂を流したりする。
3. 人為的に選手の評点を下げたり上げたりすること、または競技中に同国のエキスパートに接触すること、その他プロ倫理に反する行為。
4. 採点に選ばれたエキスパートは、すべての採点用紙とモジュールに関連する形跡を注意深く保管しなければならない。それがなされない場合、チーフ・エキスパートおよび職種競技マネージャ、さらには上位に報告される。

### C. 採点手順と仕様

1. 採点手順には、タブレットや紙での採点様式の記録とCISの入力が含まれている。  
紙の採点フォームには、横長採点様式、採点プロセス記録（コメントフォーム）、タイムキーパー記録などがある。
2. 特別な場合に評価基準を調整する場合は、採点チームリーダーはチーフ・エキスパートおよび職種競技マネージャの許可を得ること。この調整は、すべての競技者に同じ基準が適用されるように、大会前にすべてのエキスパートと選手に周知されなければならない。

3. エキスパートは採点において独立性を保つべきである。エキスパート評点結果に差異が生じた場合は、原則として多数決を適用する。論争が残る場合は、採点結果のコンセンサスを得るために、評点の加算または減算の証明を提示しなければならない。重大な紛争については、チーフ・エキスパートおよび／または職種競技マネージャが関与する。
4. 各モジュールの終了時に、エキスパートは採点チームリーダーに採点様式、採点プロセスレコード、タイムキーパーレコードをすべて渡し、証拠資料として保管する。
5. 採点チームメンバーの採点様式は、採点チームリーダーが各モジュール終了後にチーフ・エキスパートに提出し、監査と署名を受け、CISに入力されるものとする。

## 5 競技課題

### 5.1 一般的な説明

3（評価戦略と仕様）および4（採点スキーム）では、競技課題の開発について規定している。以下の記述は補足である。

競技課題は、それが単体のものでも、複数の独立または関連したモジュールの集合体でも、WSOSの各セクションで規定された応用知識、技能、および振舞いに対する評価を可能とすること。

競技課題の目的は、採点スキームと連動して、満点にわたる評価と採点のための、完全で釣り合いのとれた本物の機会を提供することである。競技課題と採点スキームおよびWSOSの関係性が、品質における重要な指標となる。実際の作業パフォーマンスとの関係性についても同様である。

競技課題は、2（ワールドスキルズ職業基準）で示された状況以外では、WSOSの範囲外の領域をカバーしたり、WSOS内の評点のバランスに影響を与えることはない。この職種定義では、WSOSに関係する全範囲の評価をサポートするため、競技課題の性質に影響を与えるいかなる問題についても記載する。2.1を参照のこと。

競技課題は、実際の作業における応用を通してのみ、知識および理解を評価することができる。競技課題は、ワールドスキルズの規則と規制に関する知識を評価するものではない。

現在、ほとんどの競技課題（および採点スキーム）は、エキスパートから独立して設計および開発されている。これらは、職種競技マネージャまたは独立した競技課題開発者によって、通常は大会開催12か月前から設計および開発される。それらは、独立した検討、検証、および妥当性確認の対象となる。（4.1を参照）

以下に提示する情報は、この職種定義の完成時点で判明している内容および機密保持要件の対象となるものである。

詳細については、最新版の競技規則を参照すること。

### 5.2 競技課題の形式／構造

競技課題は、一連の独立したモジュールである。

### 5.3 競技課題の設計要件

競技課題は、基礎となる職務の目的、構造、プロセス、結果を反映すること。また、その職務の小規模バージョンを目標とする。実用性に注視する前に、SMTはセクション5.1に記載のとおり、その競技課題が、WSOSにおいて包括的で、バランスの取れた、正真正銘の評価採点を提供していること示すこと。

競技課題は以下の6つの基準から設計される：

セクション	基準
A	フェイシャルトリートメント
B	ボディトリートメント

セクション	基準
C	手、足、爪
D	アイトリートメント
E	一時的な脱毛
F	メイク

## 5.4 競技課題の調整と開発

競技課題は、必ずワールドスキルズインターナショナルが提供するテンプレートを用いて提出すること([www.worldskills.org/expertcentre](http://www.worldskills.org/expertcentre))。テキスト文書には Word テンプレートを、図面には DWGテンプレートを使用すること。

### 5.4.1 競技課題の調整（技能競技大会の準備）

競技課題の調整は、SCMが行う。

### 5.4.2 競技課題／モジュールの開発者

競技課題／モジュールは、独立した競技課題考案者（ITPD）が職種競技マネージャと共同で作成する。

### 5.4.3 競技課題の開発時期

競技課題／モジュールは以下のタイムラインに従って開発される。

時期	実施内容
大会開催15ヶ月前	ITPDが特定され、WSIとITPDの間で秘密保持契約が締結される。
大会開催3ヶ月前	競技課題／モジュールに関する大会前の情報が、技能五輪国際大会のウェブサイト上で公開される。
大会開催2ヶ月前まで	競技課題の文書が、技能五輪国際大会運営マネージャに送られる。
大会開催4日前	競技課題／モジュールが翻訳のためにエキスパートに提示される。
大会開催2日前	競技課題／モジュールが選手に提示される。

## 5.5 競技課題の初期検討および検証

競技課題の目的は、特定の職業における傑出した実践者の作業生活を真に象徴するように、選手への課題を作成することである。こうすることで、競技課題は採点スキームを適用し、WSOSを完全に代表することになる。この意味で、競技課題はその文脈、目的、行動、および期待において特有なものである。

競技課題の設計と開発をサポートするために、厳密な品質保証と設計プロセスが実施されている（競技規則の 10.6-10.7 を参照）。独立した競技課題設計者（ITPD）は、バリデーションに先立ち、独立した競技課題設計者のアイデアや計画をレビューし、その後競技課題を検証するために、1名以上の独立した専門家や信頼できる人物を特定することが期待されます。

職種アドバイザーは、この手配を確実に調整し、競技規則の 10.7 を支えるリスク分析に基づいて、初期検討および検証の双方の適時性と完全性を保証する。

## 5.6 競技課題の妥当性確認

職種競技マネージャは、妥当性確認に関する調整を行い、競技課題/モジュールが選手の材料、機材、知識、および時間の制約内で完了できることを保証する。

## 5.7 競技課題の公開

競技課題/モジュールは、技能競技大会前には公開されない。競技課題/モジュールは、エキスパートに対しては大会開催4日前に、選手に対しては大会開催2日前に提示される。

競技課題/モジュールの大会前情報は、ワールドスキルのウェブサイトを通じて大会開催3か月前に公開される。

## 5.8 競技課題の変更

競技課題は独立した競技課題考案者（ITPD）によって作成されているため、技能競技大会で競技課題/モジュールの変更が求められることはない。ただし、競技課題文書の技術的エラーとインフラの制約から生じる修正は除く。

## 5.9 材料または製造業者の仕様

選手が競技課題を完了するために必要となる特定の材料および（または）製造者の仕様は、大会開催組織より提供され、エキスパートセンターにあるリンク [www.worldskills.org/infrastructure](http://www.worldskills.org/infrastructure) より入手できる。ただし、特定の材料および/または製造者仕様の詳細は秘密にされている場合があり、技能競技大会前に公開されない場合があることに注意すること。そのような物の中には、故障診断モジュールや公開されていないモジュールの物品が含まれる場合がある。

選手の材料リストは、大会開催 3 ヶ月前に入手可能な大会前情報に添付されている。

## 6 職種管理および情報伝達

### 6.1 ディスカッションフォーラム

職種競技に関する議論、情報伝達、協力および意思決定の全ては、技能競技大会に先立ち、職種限定のディスカッションフォーラムで実施すること (<http://forums.worldskills.org>)。職種に関連する決定および情報伝達は、フォーラムで実行された場合のみ有効とする。チーフエキスパート（またはチーフエキスパートが指名したエキスパート）が、このフォーラムの進行役となる。情報伝達に関するタイムラインおよび職種競技開発の要件については、競技規則を参照のこと。

### 6.2 選手の情報入手

大会登録された選手のための情報はすべて、選手センター ([www.worldskills.org/competitorcentre](http://www.worldskills.org/competitorcentre)) から入手できる。

入手可能な情報は以下の通り

- 競技規則
- 職種定義
- 採点集計様式（該当する場合）
- 競技課題（該当する場合）
- インフラリスト
- ワールドスキルズ安全衛生および環境に関する方針と規制
- その他の技能競技大会関連の情報

### 6.3 競技課題および採点スキーム

公開中の競技課題は、[www.worldskills.org/testprojects](http://www.worldskills.org/testprojects) および選手センター ([www.worldskills.org/competitorcentre](http://www.worldskills.org/competitorcentre)) から入手できる。

### 6.4 大会期間中の各日の職種管理

技能競技大会中の日々の職種の管理は、SCM（職種競技マネージャ）が指揮する職種管理チームが作成した職種管理計画に定められている。職種管理チームは、SCM（職種競技マネージャ）、チーフエキスパートおよび副チーフエキスパートで構成される。職種管理計画は、競技大会の6ヶ月前から順次策定され、競技大会で最終決定される。職種管理計画は、エキスパートセンター ([www.worldskills.org/expertcentre](http://www.worldskills.org/expertcentre)) にて閲覧できる。

### 6.5 一般的な最良事例の手順

一般的な最良事例の手順では、最良事例の手順と職種限定規則（9）の違いを明確に説明する。一般的な最良事例の手順は、（倫理行動規程罰則システムを含む問題および紛争解決手順の一部として罰則が適用されるであろう）競技規則または職種限定規則への違反として、エキスパートおよび選手が責任を課されてはならないものである。場合により、選手に向けた一般的な最良事例の手順が採点スキームに反映されることもある。

テーマ／課題	ベストプラクティスの手順
競技課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 競技課題は公開されないが、競技課題モジュールは競技の3カ月前に公開中の競技課題が回覧される。これにより、競技課題の大まかなアウトラインが示される。</li> <li>• 競技課題モジュールは、エキスパートには大会開催3日前から1日前に公開される。</li> <li>• 競技課題モジュールは、選手には開催2日前に提示される。</li> </ul>
競技課題の翻訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 競技課題モジュールは、競技課題がエキスパートに公開された直後に翻訳されるものとする。</li> <li>• 通訳者は、辞書、オンライン翻訳、その他のデジタル手段など、競技課題の翻訳に必要な任意のツールを使用できる。</li> <li>• 翻訳はワークショップでなされるものとする。</li> </ul>
採点チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 採点チームは、各自の専門知識と経験に応じて割り当てられる。</li> <li>• チーフ・エキスパートは採点してはならない。</li> </ul>
グループチームリーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 経験に応じて選出される。</li> <li>• 各モジュールの採点チームを管理する。</li> <li>• チーフ・エキスパートによる採点様式の配布と回収を支援する。</li> <li>• 委任された通りに、職種競技後の協議やその他の支援作業に参加する。</li> <li>• グループメンバーを招集して準備をする。</li> <li>• エキスパートが遅刻した場合には、チーフ・エキスパートに報告する。</li> <li>• エキスパートをまとめ、各エリアのインフラを確認する。</li> <li>• チーフ・エキスパートからタブレット、採点様式、書類、文房具を受け取る。</li> <li>• エキスパートをまとめ、選手の道具と材料を確認する。</li> <li>• 選手とモデルが正しいワークステーション（各選手用作業場）にいることを確認する。</li> <li>• モデルを観察し、適合性を評価して、必要に応じてモデルを変更する。</li> <li>• 予備のモデルが作業場から離れないようにする。</li> <li>• 準備が終わったら、チーフ・エキスパートに報告する。</li> <li>• 職種競技後           <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 肌分析様式、計時記録、メジャメント（測定）チェック結果表示、その他の書類を集める。</li> <li>◦ 各モジュールの採点を40分以内に仕上げ、タブレットと採点様式をチーフ・エキスパートに提出する。</li> </ul> </li> </ul>
計時	<ul style="list-style-type: none"> <li>• タイムキーパーは、各モジュールの評価を行わないエキスパートの中から選ばれ、さらに独立したボランティアのタイムキーパーが加わる。</li> <li>• 選手が競技規則に従っているか、競技がスムーズに進行しているかを監督し、確認するために検査官を補佐する。</li> <li>• 投票を実施し、選手のワークステーションを記録する。</li> <li>• ランダムに投票する選手とモデルを整理し、ワークステーション番号を記録する。</li> <li>• チーフ・エキスパートに選手とモデル・ワークステーション番号の記録を提出する。</li> <li>• チーフ・エキスパートからタイムキーパーの記録を受け取る。</li> </ul>

トピック／ タスク	最良事例の手順
	<ul style="list-style-type: none"> <li>採点が2分以上かかる場合は、記録して、選手に延長時間が与えられるようにする。</li> <li>競技の「開始」「停止」の指示を実行する。</li> <li>1時間、30分、15分、5分のカウントダウンのリマインドを行う。</li> <li>各モジュールで選手のタイムチェックを記録する。</li> <li>各モジュール終了後、採点用にすべての計時記録をグループリーダーに提出する。</li> </ul>
検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>検査官はチームで構成され、各モジュールの評価を行わないエキスパートから選出される。</li> <li>選手がいかなる不利益も被らないようにする。</li> <li>チーフ・エキスパート直属。</li> <li>常にワークショップに残ること。</li> <li>採点の証拠として写真を撮る。</li> </ul>
カウチの割り当て	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手のソファ番号は習熟時にくじ引きで決められ、選手はモジュールごとに作業エリアを移動する。</li> </ul>
モデル	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会開催4日前から2日前まで、ワークショップ・マネージャとESRが様々なモジュールの適合性を確認し、モデルを選択する。</li> <li>モデルは各モジュールの開始前に、ESRとエキスパートチームによって準備される。</li> <li>モデルには番号が与えられ、各モジュールの開始前にくじ引きで割り当てられる。</li> <li>競技中に問題が発生した場合に備え、予備のモデルを用意すること。</li> <li>ワークショップ・マネージャは、予備のモデルがワークショップを離れないようにしなければならない。</li> </ul>
器具の故障	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手には、器具が故障した場合、または代用器具に移行する際の時間損失が発生した場合、必要に応じて延長時間が割り当てられる。</li> </ul>
持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手は無駄なく、製品を経済的に利用すること。経済的・営利的な視野を持つこと。</li> </ul>
ドレスコード	<ul style="list-style-type: none"> <li>業界を代表するのに適切な衣服を着用すること。職種競技中は常に、足全体が覆われた靴を履くこと。</li> </ul>

## 7 職種限定の安全要件

### 7.1 個人の保護具

開催国／地域の規約の情報として、ワールドスキルズ安全衛生および環境に関する方針と規制を参照すること。

タスク	サイド保護メガネ保護	防塵マスク	切削加工保護手袋／フィンガーカット	ゴム底の丈夫なクローズド・トゥ・シューズ	金具に適合する作業服（長いズボン）	プラスチックエプロン
安全エリア用の一般的なPPE（個人用防護具）	オプション	オプション	✓	✓	✓ 適切で体に合ったユニフォーム	✓
ワックス脱毛			✓			✓
マニキュアとペディキュア	オプション	オプション	✓			
まつげエクステンション	オプション	✓ マネキンには適用されない。				
ボディエンベロップメント／ラップ			オプション			オプション
フェイシャルトリートメント		オプション	✓ TPの定めるところによる。			
アイラッシュ、アイブロウ・ティント		オプション	✓			

## 8 材料および機材

### 8.1 インフラリスト

インフラリストには、大会開催組織が提供するすべての機材、材料、設備の詳細が記載されている。

インフラリストは、[www.worldskills.org/infrastructure](http://www.worldskills.org/infrastructure) で入手可能である。

インフラリストには、次回の技能競技大会に向けて職種管理チームが要求した品目と数量が記載されている。大会開催組織は、物品の実際の数量、種類、ブランド、モデルを明記したインフラリストを順次更新する。**特定の材料および／または製造元の仕様の詳細は秘密にされている場合があり、技能競技大会の前に公開されない場合があることに注意すること。**そのような物の中には、故障診断モジュールや公開されていないモジュールの詳細が含まれる場合がある。

各技能競技大会において、職種管理チームは、次回の技能競技大会に備えたインフラリストの検討と更新を行わなければならない。職種競技マネージャは、スペースおよび／または機材の増加がある場合は必ず、技能競技大会ディレクターに報告しなければならない。

各技能競技大会において、技術オブザーバーは、その技能競技大会で使用されるインフラリストを監査する必要がある。

インフラリストには、選手および／またはエキスパートが持参する必要がある品目や選手の持参が禁止されている品目は含まれない。これらの品目は以下に記載する。

### 8.2 選手の工具箱

選手は、技能競技大会に工具箱を送ることはできない。道具はすべて大会開催組織が提供する。

### 8.3 選手が持参する材料・機材・工具

選手は材料、器具、道具を大会に持ち込むことはできない。ただし、選手は習熟日（大会開催2日前）の午前中に、以下の表に規定されている道具を持ち込むことができる。これらの道具は、選手の荷物に入れて持ち込むか、現地で購入することが推奨される。

さらに選手は、セクション7の職種限定安全要求事項で指定されているように、自身の個人用防護具を準備する必要がある。

次の物品は、道具キットに入れて持ち込むことができる。

写真詳細	写真
メイク用アプリケーション、メイクパレット、メイク用スポンジ	

写真詳細	写真
	 <p>A collection of beauty tools including five teardrop-shaped sponges in pink, blue, red, purple, and yellow, two round brushes with yellow bristles, and a white circular palette with multiple small wells.</p>
<p>アイブロウ・ペンシルと 削り器</p>	 <p>Four eyebrow pencils with black barrels and brushes, and a black and clear plastic sharpener.</p>
<p>パウダーパフ</p>	 <p>Four white, circular powder puffs, some with mesh covers.</p>

写真詳細	写真
<p>ネイルアートブラシー選手は職種競技で使用するブラシを自分で選んで持参することが可能</p>	
<p>ネイルグルー、爪やすり、バッファー</p>	
<p>眉毛用ピンセット、綿糸リール (カミソリは禁止)</p>	
<p>ペディキュア、マニキュア用の金属製の道具ペディブレードは禁止</p>	

写真詳細	写真
	
<p>メイク用ブラシ、眉毛用 ブラシ</p>	
<p>道具ベルト、ブラシホル ダー</p>	

## 写真詳細

## 写真

	 
<p>アイラッシュ（つけまつげ）用ツイザー/ピンセット</p>	
<p>アイラッシュ（つけまつげ）を置くタイル、まつげミラー、エアブロー、まつげエクステ用グラー、送風機、メガネルーペ、まつげ</p>	  

写真詳細	写真
	
<p>爪切り用はさみ</p>	
<p>懐中時計</p> <p>クリップボード/フリップボード (写真)</p>	

## 写真詳細

## 写真

個別タイマー3台



- 選手個人のツールキットは、大会開催2日前と各モジュールの前にエキスパートによってチェックされる。
- 毎日の道具チェックを容易にするため、選手は各モジュールに必要な道具をジップロックや透明なビニール袋に入れること。
- このセクションに記載されていないアイテムはすべて排除される。
- インフラリストのすべての材料は、習熟中に選手がテストできるように用意されなければならない。

## 8.4 エキスパートが持参する材料・機材・工具

セクション7. 職種限定の安全要件に記載のとおり、エキスパートは自身の保護具を持参する必要がある。

エキスパートは、通訳者の保護具の持参にも責任を負うこと。

## 8.5 職種エリアで禁止されている材料・機材

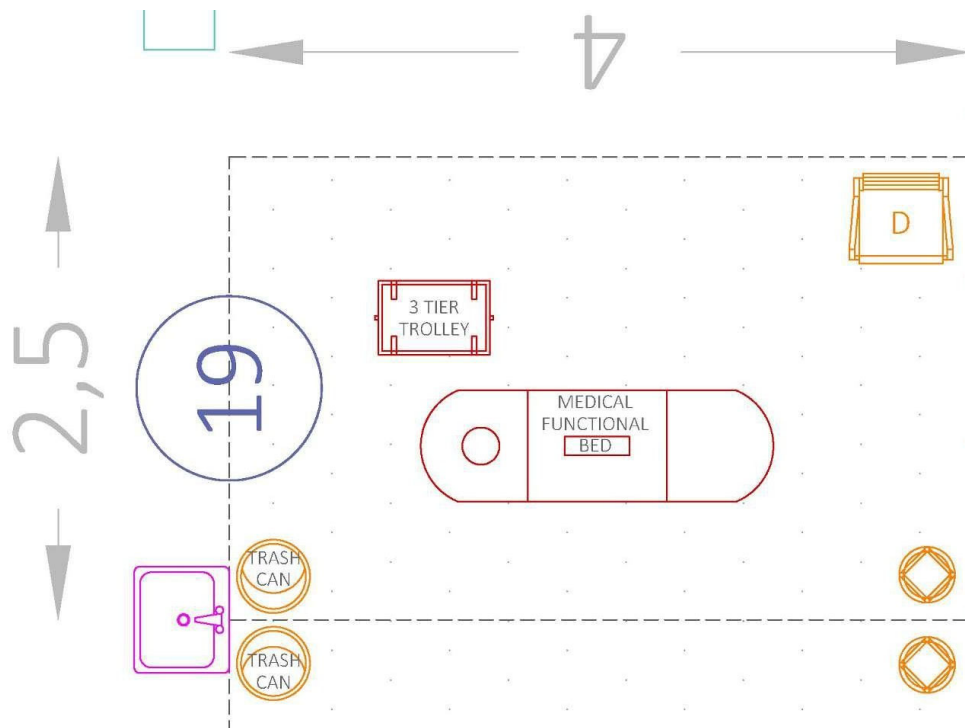
選手及びエキスパートは、セクション8.3と8.4に記載のないいかなる材料・機材も持参してはならない。

8.3と8.4節を参照のこと。

選手は、大会前情報で指定されていない限り、提供された材料のみを使用しなければならない。

選手がリストにない材料、道具、製品を使用した場合、大会中に失格となることがある。





## 9 職種限定規則

### 9.1 一般的な説明

職種別規則は競技規則と矛盾したり、競技規則に優先することはできない。職種競技によって異なる部分については、具体的な詳細と明瞭性を提供している。これには、個人のIT機器、データ記憶装置、インターネットアクセス、手順とワークフロー、文書管理と配布が含まれるが、これらに限定されない。これらの規則に違反した場合は、倫理行動規程および行動ペナルティ制度を含む問題と紛争解決手続きに従って解決される。

### 9.2 職種限定規則

トピック/タスク	職種限定規則
テクノロジーの活用 —USBメモリ、メモリスティック	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手、エキスパート、通訳者は、メモリスティックをワークショップに持ち込むことができるが、競技4日目が終了するまでロッカーに入れておかなければならない。</li> <li>職種競技マネージャおよびチーフ・エキスパートはこの規則の適用外とする。</li> </ul>
テクノロジーの使用 —個人用ノートパソコン、タブレット、携帯電話	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手、エキスパート、通訳者は、私物のノートパソコンやタブレット端末をワークショップに持ち込むことはできないが、持ち込まれた場合は、競技4日目が終了するまでロッカーに入れておかなければならない。</li> <li>職種競技マネージャとチーフ・エキスパートは、ワークショップに私物のノートパソコンやタブレットを持ち込み、使用することができる。</li> <li>エキスパート、選手、通訳者は、ワークショップに携帯電話を持ち込むことができるが、個人用ロッカーに鍵をかけ、昼食時と終了時にのみ持ち出すことができる。</li> </ul> <p>職種競技マネージャとチーフ・エキスパートは、職種競技固有の理由により、必要に応じて携帯電話を持ち込んで使用することができる。</p>
テクノロジーの使用 —個人の写真・ビデオ撮影機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>選手、エキスパート、通訳者は、競技4日目の職種競技終了時のみ、ワークショップで個人の写真・ビデオ撮影機器の使用が認められる。</li> <li>チーフ・エキスパートが指定する撮影機器は、競技中に審査目的でのみ使用することができる。この場合、競技4日目終了まで撮影機器をワークショップから持ち出してはならない。</li> <li>職種競技マネージャおよびチーフ・エキスパートはこの規則の適用外とする。</li> </ul>
テンプレート、補助ツールなど。	<ul style="list-style-type: none"> <li>競技課題に指定されていない限り、選手はテンプレートや補助具を使用してはならない。作業はフリーハンドのみ。</li> </ul>

テーマ／課題	職種別規則
図面、レコード情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>• チーフ・エキスパート、エキスパート、競技者、通訳者は、競技4日目が終了するまで、ワークショップからメモ、図面や録音/録画を持ち出すことはできない。</li> <li>• 職種競技マネージャはこの規則から除外される。</li> </ul>
エキスパート採点仕様	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 選手への迷惑を避けるため、競技中の会話は最小限にすること；</li> <li>• エクスパートは競技中、同国選手のワークステーションから離れていなければならない。</li> <li>• エクスパートは同国選手の採点に参加することはできない。</li> <li>• メイク、ペディキュア、マニキュアのプログレッシブ採点は、モデルの自然な状態ではなく、技能に重点を置くべきである。</li> <li>• プログレッシブ採点は、競技課題で指定された一部のチェック点を除き、選手の操作後に行われなければならない。</li> <li>• エクスパートはプログレッシブ評点を2分で仕上げなければならない。</li> <li>• プログレッシブ採点が2分以上続く場合は、選手に延長時間を与えなければならない。</li> <li>• 選手が採点を待っている場合は、タイマーを止め、採点後に再びスタートさせる。タイムキーパーは確認し記録を行う。</li> <li>• 複数の選手を同時にチェックする必要がある場合は、エキスパートが2人1組になってチェック結果を共有することができる。</li> <li>• 採点中にエキスパートがワークショップを離れることは許されない。</li> <li>• 採点しないエキスパートは採点エリアに入ることができない。</li> <li>• チーフ・エキスパートおよび／または職種競技マネージャの許可がない限り、エキスパートは競技会場を離れることはできない。</li> </ul>
測定採点	<ul style="list-style-type: none"> <li>• エクスパートは競技中、ランドスケープ形式の採点様式に鉛筆で評点を記録し、採点チームリーダーは、各モジュールの終了後に採点ディスカッションを行う。</li> <li>• エクスパートはすべての減点とコメントを採点コメント様式に記録しなければならない。この採点コメント様式は、測定採点のディスカッションの際に使用される。</li> <li>• 各採点項目の結果が決まったら、エキスパートは鉛筆で書いた元のレコードをペンではっきりと覆い、それ以上変更してはならない。</li> <li>• すべての採点結果が合意された後、採点結果が有効であることを確認するため、エキスパートは採点チームリーダーの採点様式に署名しなければならない。</li> <li>• 採点にタブレットを使用する場合は、エキスパートが採点結果に同意し、採点チームリーダーがタブレットに評点を入力しなければならない。</li> <li>• フェイシャルトリートメントモジュールでは、メイク落としとクレンジング、まつ毛と眉毛のティント除去の評点は、エキスパートが即座にチェック表示に基づいて決定しなければならない。時間測定の採点はタイムキーパーの記録に基づいて行われなければならない。</li> </ul>

トピック／タスク	職種限定規則
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各モジュールの終了後、エキスパートは採点チームリーダーに採点様式、採点プロセス記録、タイムキーパー記録をすべて渡し、証拠資料として保管しなければならない。</li> </ul>
判定採点	<ul style="list-style-type: none"> <li>エキスパートは競技中、ランドスケープ形式の採点様式に鉛筆で評点を記録しなければならない。タブレットが用意されていない場合、採点チームリーダーは採点ディスカッションの責任を負う。</li> <li>エキスパートは採点チームリーダーの指示に従い、同時に得点を表示しなければならない。評価細目の得点の範囲が1未満の場合、エキスパートは鉛筆で書かれた元のレコードをペンではっきりと覆わなければならない、それ以上の変更はできない。</li> <li>ある評価細目の得点範囲が1を超える場合、エキスパートはその評価細目について、簡単なディスカッションとプルーフ・プレゼンテーションを行わなければならない。</li> <li>タブレットが提供される場合、採点は採点用のエキスパートがタブレットを介して採点用のCISに直接入力しなければならない。評価細目の得点の幅が1を超える場合、職種管理マネージャは採点チームリーダーと直接通信しなければならない。採点を確定する前に、採点チームリーダーは採点結果がバリデーションであることを確認しなければならない。</li> <li>各モジュールの終了後、エキスパートは採点チームリーダーに採点様式、採点プロセス記録、タイムキーパー記録をすべて渡し、証拠資料として保管しなければならない。</li> </ul>

## 10 エキスパートの知識と経験

### 10.1 要件

本職種のエキスパートは、**セクション1.1.2**に記載されているとおり、適切な職務または業務の実施において、下記の知識と経験を有する必要がある。

エキスパートは以下の最低資格要件を満たしていること。

- ビューティーセラピーのディプロマ、または同等の資格（CIDESCO／ITEC／国家資格、または関連資格と完全資格の組み合わせでも可）
- 以下の資格を含む：
  - 基礎および上級スキンケア（肌分析、手技および電気機器を用いた施術）
  - ボディセラピー（身体分析、手技および電気機器を用いた施術）
  - ボディマッサージ（全身スウェディッシュマッサージ）
  - メイクの基本テクニック
  - まつ毛と眉毛のトリートメント
  - 顔と体の脱毛テクニック
  - マニキュアとペディキュアのトリートメント。

期待される産業および／または技術職業教育訓練の経験：

- 2年以上の業界経験（最新のトレンドやテクニックの知識を含むサロン／スパでの実務経験）  
または
- 最低2年間の技術職業教育訓練、理論訓練、評価の経験  
または
- 2年間の評価経験（技術職業教育訓練、国内大会の経験または同等）

専門分野：

- ボディセラピー（ボディマッサージ、スパボディトリートメント、特殊マッサージテクニックを含む）
- スキンケア療法
- スキンケア電気療法
- ボディ電気療法
- 脱毛技術（スレッディング、シュガーリング、ワックス脱毛）
- マニキュアとペディキュア
- メイクのテクニック
- ネイル技術
- ネイルアート
- まつげエクステンション
- まつ毛と眉毛のトリートメント（ラミネート、リフティング、ティンティング）

# 11 来場者とマスコミに対する職種の情報活動

## 11.1 情報活動の方法

来場者とマスコミに対する職種の情報活動が最大限に見込める方法を以下に挙げる。

- 技能体験
- ディスプレイ画面
- 競技課題の説明
- 選手の活動に対する理解の促進
- 選手のプロフィールの紹介
- 就業機会の情報提供
- 競技状況の日毎の掲示
- 審判に関係のない美容関係者と観客の交流

## 12 持続可能性

### 12.1 持続可能な実践活動

この職種競技では、以下の持続可能な実践に焦点を当てる：

- リサイクルの実施
- 「環境に優しい」材料の使用
- 技能競技大会後に、完成した競技課題の活用

## 13 産業界との協議に関する情報

### 13.1 一般的な説明

ワールドスキルズは、ワールドスキルズ職業基準において、産業界およびビジネスにおいて国際的に認められた最良事例のダイナミズムが完全に反映されるように保障することをコミットしている。そのために、ワールドスキルズは、2年周期で、関連する職業の役割についての説明案およびワールドスキルズ職業基準に対するフィードバックが提供できる、世界中の多くの組織にアプローチを行っている。

並行して、WSIは、3つの国際職業分類とデータベースを利用している。

- ISCO-08: (<http://www.ilo.org/public/english/bureau/stat/isco/isco08/>)
- ESCO: (<https://ec.europa.eu/esco/portal/home>)
- O\*NET OnLine ([www.onetonline.org/](http://www.onetonline.org/))

### 13.2 参考情報

このWSOSは、美容師および関連サービスと関係がある：

<http://data.europa.eu/esco/isco/C5142>

および美容師、ヘアスタイリスト、美容専門家：

<https://www.onetonline.org/link/summary/39-5012.00>

類似した職業はこれらのリンクから検索することができる。

#### ILO 5142

以下の表に、技能五輪国際大会（2024年リヨン大会）に向け、関連する職業の役割の説明とワールドスキルズ職業基準について打診され、有益なフィードバックを提供した組織を示す。

オラニゼーション	担当者
CIDESCO アイルランド支部	Kathleen Maguire Jordan（部門長）
Isa Carstens Academy	Yolande Swanepoel（学術部長）
iTEC/VTCT	Elaine Willemse（国際事業開発マネージャー）
自営業	Jeannie Sim Siew Lan（自営業）
Shanghai Beauty Farm Medical Health IndustryCo., LTD	Tang Ying（シニアトレーニングマネージャー）
The Association of Japanese Estheticians and Beauty Therapists	Takashi Toyonaga（事務局）
Wuhan Channel Xiao's Beauty Development Corporation	リー・リー（トレーニング部長）

## 14 付録

### 14.1 付録情報

該当なし。